

# 天龍村議会活動記録

2026

2月

## 第55回 天龍梅花駅伝

2/15  
(日)



“信州に春を告げる村”  
天龍村。当日は快晴に恵まれ、県内外からコロナ禍以降 最多の128チームが参加する盛大な大会となりました。

村議会議員は大会役員の一員として当日に臨み、議長は移動審判を務めました。ほかの議員は交通誘導にあたりました。



長野県副知事の新田恭士氏も「長野県建設部Team栗林」の一員として出場。



2/16 (月) 旧天龍中学校施設の利活用検討委員会 答申書を提出



7回にわたり行われた検討委員会の答申をしました。

2026年2月 村松克一議長 活動記録



- 2月2日 飯伊町村議会議員研修会
- 2月4日 天龍村議会月初め議会運営委員会
- 2月12日 広域連合議会運営委員会
- 2月14日 梅花駅伝前日コース清掃 一十方峡一
- 2月15日 天龍梅花駅伝
- 2月16日 天龍村健康福祉課タブレット貸与運営協議会 (ICTネットワーク)
- 2月17日 天龍村議会あり方検討会
- 2月18日 県町村議長会
- 2月19日 広域議会消防環境委員会
- 2月25日 広域議会消防司令室見学
- 2月27日 南部5町村議員会評議員会



※議員全員参加の活動も含まれます

2/2 (月) 演題 議員が守るべき政治倫理

飯伊市町村議会議員研修会が鼎文化センターで開催されました。



1.なぜ政治倫理が必要か (1)意義

倫理	政治倫理	行政倫理
強制力を伴う法規範に対して、内心の道徳規範をいう	政治にかかわる者の行為規範であり、道徳よりもむしろ法規範に近い問題	公務員に対する社会の期待や信頼にこたえる行動規範をいう (ex国家公務員倫理法)

政治倫理の大きな意義の1つとして、議会と議員が政治倫理に関する自浄作用を発揮し、住民の期待に応えながら住民との信頼関係を構築することがあげられる。

地域特産物マイスターに認定されました

公益財団法人日本特産農産物協会

天龍村にUターン就農し、「ていざなす」を生産している板倉さんが、令和7年度の地域特産マイスターに認定されました！



板倉 貴樹さん



ちなみに、熊谷美沙子副議長は、昨年手揉み茶で認定を受けています。

編集後記

イスラエルとアメリカを巡る緊張。世界の動きは、もはや遠い国の出来事ではありません。近くの大国の様子もどこかきな臭い。「平和ボケ」と言われてきた日本は、本当に目を覚ましているのでしょうか。不安をあおるのではなく、現実を直視すること。足元を見つめ直すことが、いま求められていると感じます。

編集長：今村 久雄